

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成27年1月8日（木）午後7時30分～9時
会場	日田公民館
地域座談会の内容（意見交換等の内容等）	
<p>① 12月に谷地田五反線の道路の一部を舗装していただきありがとうございました。ただ問題は、鉄塔から先の未舗装の部分がまだまだあり、陵東中学への通学に使っている生徒が雨上りの日などは、車が跳ね上げる泥で学生服が汚れるとの苦情も二、三寄せられている。舗装工事をお願いしたい。また、除雪がされていないため、現在は、通行止めのような恰好になっており不便である。</p> <p>→ 平成26年度に短い区間ですが舗装させてもらった。これから本格的に進んでいく。引き続き、整備をしていきたい。除雪については、まずは舗装を早めることとし、スピードを上げていくということでご理解をいただきたい。</p> <p>② 少子化対策について具体策をお聞きしたい。</p> <p>→ 子どもの医療費は、昨年10月から中学3年生まで入院も通院も無料化にしており、一つの目標は達したと思っている。高校3年生までと言う取り組みもあるかもしれないが、また他の部分で充実していきたい。</p> <p>多子世帯への支援と言う意味で、保育所の保育料の取扱いで、一番上の子が小学3年生までであれば第3子の保育料は無料となっているが、これを一番上の子が中学生でも第3子の保育料を無料としていくことで子育て世代を支援していきたい。子どもが多いと経済的に負担が大きい。そういうところの支援を充実していきたい。</p> <p>少子化で子ども全体の数は減っているのに、保育所に入る子どもは減って行かない。0～2才児の子どもを預ける世帯が増えている。にしね保育所、みなみ保育所など交通の便がいいところは人気がある。また、ここは寒河江幼稚園、大谷幼稚園が指定管理者で運営しており、延長保育の対応など融通をきかせており、居住地でなくても預けやすい保育所を選んでいる。</p> <p>保育ニーズに対応していくために、民間の認可外の保育園が要件を満たすように施設を直してもらい認可保育園とするようにしている。これにより、利用しやすいような体制をとっていく。現在、待機児童はいないが、なるべく入りたいところへ入れるような定員の量を確保していきたい。</p> <p>また、学童保育のない地区もあり整備していきたい。</p>	

③ 朝に、信号機のある交差点に小学生の通学にあわせて立哨しているが、除雪されておらず、子どもたちの長靴が隠れるくらいの雪がある。

皿沼河北線はグレーダーが掃いているが、交差点の歩道に雪が盛り上がった状態で硬くなっており小学生が乗り越えるのに苦労している。気づいた時には自分が片づけたりしているが、高齢でもあり力がなくなっている。市としての対応をお聞きしたい。

→ 建設管理課に「雪の総合窓口」を設置している。雪に関しては、直接、具体的な場所と内容を言ってもらい相談していただいた方が、問題の解決が早く出来ると思う。

④ 防犯街路灯を26か所、LEDに交換していただき、感謝申しあげる。しかし、幹線道路が優先で、町会の中はまだ実施されていない。いち早く交換してもらいたい。

城の内町会だが、学校帰りなど、夜は暗くて子ども一人で歩けない。来年度に町会の中の9カ所の新設をお願いするように申請の準備をしたい。

→ 出来るだけ早く進めていきたい。防犯の観点から暗い所につけていくのが優先となると思う。出来るだけ前倒しをして整備をしてきたい。平成27～28年度までの計画だが、出来るだけ早めに対応したい。

⑤ 多面的機能支払交付事業について、雪害対策、ハウスや果樹に雪が積もり枝折れなどの被害が心配されるが、事業担当者からは、果樹園の農道の除雪も対象となるようにしたいと聞いている。なるべく、使いやすい事業となるように担当者へお話をお願いしたい。

→ 確認をして、農林課の方に話をしておきたい。

⑥ 沼川の橋の架けかえについてだが、県の1級河川に架かる橋を地権者・農家負担があるのが疑問である。農家離れが多くなる中で、負担が多くて大変だ。

負担金は、国は50%、県が25%、市が10%、地元が15%となっている。みんな苦しいながらも協力を得て、負担金も前倒しで納めてもらっているが、せめて、市の負担割合と地元負担割合を逆にいただければいいのだが。これから負担は7年間もかかる。

→ 三つの橋は補助制度を使ってようやく完成となるが、地元の皆さんには多額の負担をおかけしている。制度としてそうなっているが、我々としてもなんとか負担軽減の検討をし、県の制度を使って、以前の当初より減ってきているが、それでも多額だといっているのであれば、今すぐ何とかするとはお答えできませんが、他の事業などと比べてみて、それを踏まえて検討をさせていただきたい。

⑦ 新規に橋の建設を要望するというのなら地元負担もわかるが、既存の橋の老朽化での架けかえでの負担は納得できない。

→ 十分皆さんの気持ちは理解します。我々も来年度以降に向けて仕組みを考えてみたい。

⑧ 農家ですが、トップセールスなど市長にはご難儀をかけています。現在の農家は大変厳しい。昨年、米価が下落している。農家でも、誰かに米を作ってもらいたい人が増えており、1～2反歩のレベルでなく、1町歩単位で、来年から誰かにお願いして自分は米作りをやめたいという人もいます。

平成27年度転作の数字が、全国でも山形県の面積が多い。その中でも寒河江市が突出している。どうしてか聞くと、「はえぬき」がなかなか売れずに在庫の多い県に配分がされたのでは？と言われた。「つや姫」を作りたくても、面積が少ないと駄目と言われる。何とか配慮して欲しい。また、TPPでは、玄米は守るが、加工品には何ら手立てが出来ない。我々生産者も玄米の消費拡大を考えていかなければならない。

県では、知事が職員に「はえぬき」一人20kgを購入して欲しいと要請しているようだ。出勤する前に朝ごはんをたべてこない若者が多い。市長からも職員に朝にごはんを食べるように呼びかけて欲しい。

→ 「つや姫」を小規模農家でも作れるようにとのことだが、寒河江市は県内で一番収穫量が多い。2年連続で食味1位。3年連続となれば無鑑査にしてもらって、魚沼産の「コシヒカリ」に対抗していきたい。ヴィラージュも増やし、品質も保つ。寒河江市には発言権があると思うので、追加の面積もお願いしていきたい。ある程度量も増やしていきたい。全国の米の1/3が「コシヒカリ」。電子ジャーも「コシヒカリ」仕様になっている。寒河江市の8割が「はえぬき」で、米価が下落すると打撃が大きい。

小学校の給食は、相当な比重で米飯給食をやっているもので、これ以上は増やすのは難しい。市役所職員にも米の消費拡大を伝えるようにするが、市役所職員も一生懸命になっていくことが、みなさんにわかってもらえれば広がっていく。

我々としても取り組んでいきたい。

⑨ さくらんぼ関連の予算をとっていただき大変うれしく思うが、他市町では、在来野菜の特産化に取り組んでいる。寒河江市でも、南部地区の里いもが一部では知られておりサガエギボウシなどはギボウシ会では全国的に有名だが一般市民には浸透していない。何か方策はないのか。

→ 在来野菜としては、「子姫芋」、「もって菊」、「谷沢梅」があり、来年度、いろんなPRを含めて頑張っていく。「谷沢梅」も看板や店を出して頑張っている。「子姫芋」の名称も使えるようになった。ちゃんとブランド化して普及させていくこ

とをしたい。ギボウシは市役所前の通りに植えており、「市の緑」にしているが、市のシンボルとして、寒河江の宝として色んな形で普及させていきたい。

- ⑩ 昨年みこしの祭典を何年かぶりに見たが、こんなに若い人がいるのかと、担ぐだけでなく、沿道にも若い人が多いのにはびっくりした。一方、昨日、寒河江の街中で夜遅くまで飲んだが、雪の影響もあるがあまり人がいない。みこしが終わると寂しくなる。あの若い人たちが集まる何かがあるといいのだが。

→ さくらんぼの時期と寒河江まつり・みこし以外の時期の街中の賑わいを恒常的にしていくには、若くて元気があるのが青年会議所や商工会青年部がある。色んな取り組みを更にしていただき、特に、街中の賑わいの行事を婚活も含めて更に頑張ってもらえるようにしていきたい。いろいろな形で市の支援をしているが、あまり行政が表に出ると若い人がついてこない。団体の皆さんから頑張ってもらって、何とか盛り立てていく、我々も後ろから支援をしていく形でいければと思っている。色んな人がいっぱいいる。床屋さんの世界大会で団体優勝し、個人でも3位になった人とか、フラワーアレンジメントで日本一になった若い人もいる。イベントだけでなく、そういう人たちが輝くような街の賑わいを創造できればと思っている。

- ⑪ 最上川ふるさと総合公園、いい公園ですばらしい。クアパークも充実したこともあり、アクセスとして平塩橋の改修が必要ではないか。また、ホテルもあり、屋内多目的運動場（チェリーナさがえ）もあるので、全国こどもフットサル大会などをやったら、寒河江市をPRできるのではないか。モンテディオ山形もJ1に昇格したこともあり、「つや姫」のPRも出来るのではないか。サッカーとフットサルで寒河江市をPRできないか。

→ 平塩橋は、車同士がすれ違えないことから以前から懸案となっている。市道なので市が直すことになるが、橋は経費がかかる。何とか、県や国の力を借りて出来ないかと考えている。成人病検査センターがクアパークに出来ると朝日町、大江町の皆さんも平塩橋を通って来ると思われる。大江町長、朝日町長とも12月に平塩橋改修の期成同盟会をつくることを了承してもらった。山形新聞の社説にも書いてあったが、全体的に一帯を整備していく構想で、国土交通省には、グリバーさがえ方面を担当して整備をしてもらったが、平塩橋の下の散策道路をグリバーまで伸ばしていくように取り組んでもらい周遊できるようにして、合わせて平塩橋も何とかしてもらおうようにと考えている。

平塩橋は、長年、県から断られ続けてきたが、新しい施設も出来るし、スマートインターチェンジの24時間化もあり、状況が変わってきているので、訴えていきたい。

チェリーナさがえについては、モンテディオ山形の高橋代表取締役社長と話をした。サッカーの開幕戦前に雪の関係で地元では練習できない。寒河江市の屋内練習

場でウォーミングアップに使えないかと話をしている。是非、実現が出来ればと思っている。

- ⑫ 寒河江市内の会社関係の下水道への接続の進捗状況を聞きたい。以前に市内の会社に勤めていた時に、使用した水道量によって下水道の利用料金が決まるという説明だったが、負担が大きすぎるので、出口管理できないかと相談をした。調べたら、天童市や山形市は出口管理をしていた。

沼川に排水していたが、基準内で流していても、地下水を使用しているところで、鉄分が入っているものは絶対駄目と言われ、BODの基準値以下でも、色がついていると川への放流は駄目だからと言われ下水道に入れた。排水処理から下水道に入れるまでの区間もかなり金がかかっている。出口管理でないと負担が多すぎてつぶれる会社もでてくるのではないか。

※ BOD＝生物化学的酸素要求量。水の汚染を表す指標の一つ。

→ 工業団地の状況はなかなか進んでいかない。実際の敷地面積の関係で、相当の負担がかかるということで、なるべく緩和して、他の工業団地の事例を見て、同じような負担軽減の措置を講じている。これから下水道につなぐことを勧めている状況だが、参考に調べさせてもらって、負担をなるべく少なくしていきたい。

- ⑬ 下水道へつないでも処理施設がなくなるわけではない。まったく同じ状態で、ただ数値が緩和されるだけ。下水道に入れる場合のBODの基準値が、当初は1ℓにつき300mg未満だったが、そんなに基準が厳しいのであれば今まで通りに川に放流した方がいいと断ってきたが、その後、600mgに緩和された。出口管理も何回も言ってやっと決まった。赤川に朝晩、真黒な水が流れている。どこか基準を守っているのかわからないが、街中の川もきちんとするには、もっと早めに入ってもらわなければならないのではないか。

→ 我々も入り易い条件を検討し、他市も見ながら、基準を守りつつ、負担が少なくて効果が出るようなやり方を研究しながら、進めていきたいと思う。今後いろいろと教えていただきたい。

- ⑭ グランドワークについて、U字溝の蓋を建設管理課からもらって新しいものと交換している。予算の関係から市全体で年間200枚程度のようなのだが、今の仕組みでは、町内会で2～3年かかる。今年度は何枚までといやり方でなく、前年度に申し込んで、現地調査をしてもらって次年度分を確保してもらうような方式の方がいいのではないか。作業する際に、その都度、町会で保険をかけなければならないので、一気に終了させるようなことはできないか。

→ 側溝整備や悪水路も含めて需要が多い。舗装も含めて予算を増やさなければと思っている。身近なところの事業は予算を増やしてニーズに対応していく必要がある。

あると考えている。まず、要望があれば早めをお願いしたい。また、ニーズ調査もさせていただくことになると思う。

⑮ **日田公民館の周辺整備の要望書を提出しているをお願いしたい。**

→ 要望は十分に把握している。着実に順位はあがっている。十分に内容は承知しているので頑張らせていただきたい。